

KENWOOD

CD/MDチェンジャー スイッチングユニット(AUX入力RCA端子付き)

KCA-S210A

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。

株式会社 ケンウッド KENWOOD CORPORATION
©PRINTED IN JAPAN B64-1413-00 (MC)

⚠️ 安全上のご注意

- 切替ユニットやコントローラーを以下の場所には取り付けないでください。
 - 不安定な場所
 - 運転操作の妨げになる場所
 - 水のかかる場所
 - ほこりの多い場所
 - 高温になる場所
 - 直射日光のあたる場所
 - 熱風のある場所
- 切替ユニットをダッシュボードやリアトレイ等には取り付けないでください。衝撃で外れた際に人体に当たり、怪我をする事があります。
- 切替ユニットのマジックテープによる取り付けは、簡易的なものです。確実に固定するためタッピングネジによる取り付けをお勧めします。

使用上のご注意

■ ディスクチェンジャー接続時のご注意

- KDC-C50, KDC-C55のいずれかを接続するときは、別売品の"CA-DS100"が必要です。別途お買い求めください。
- C705i, C705sr, MD6, MD66を接続するときは、別売品の"CA-KD20"が必要です。別途お買い求めください。
- KDC-C200, KDC-C300, KDC-C301, KDC-C100, KDC-C302, C205, C205S, C205Z, C705, C510, C506, C710, C706, MD56および他社製のディスクチェンジャーは接続することはできません。接続すると故障/破損の原因になります。(1999年1月現在)

■ センターユニット接続時のご注意

接続するセンターユニットにより、PROTOCOL(プロトコル)スイッチの設定や、AUX音声への切り替え操作が異なります。接続するセンターユニットが下記の何のユニットグループに属するか確認のうえ、本取扱説明書をご覧ください。

- A ユニット:** RX-360, RX-350, RX-340, RX-330, RX-D540など、センターユニットのソース選択でディスクチェンジャー1/2を切り替えられないタイプ。
- B ユニット:** CR-F900, CR-F700, CR-F500, DR-F900, DPX-700, DPX-500, DPX-410, DPX510, DPX-710MD, DPX910MD, DPX-660MD, DPX-550, DPX-440など、1998年以前に発売された製品で、センターユニットのソース選択でディスクチェンジャー1/2を切り替えられるタイプ。
- C ユニット:** RX-450, RR-500E, RX-750MD, RX-650MD, DPX-990MD, DPX-770MD, RX-560CD
- D ユニット:** 1999年以降に発売された製品で、センターユニットのソース選択でディスクチェンジャー1/2を切り替えられるタイプ。

商品保証のご案内

1. 保証条件

正常な使用状態において製造上の不備に起因する故障の生じた場合は、お買い上げの日から1年間は無償修理いたします。この場合、領収書などお買い上げ年月日を証明できるものの提示が必要です。

2. ご注意

次の場合、保証期間内でも有償となります。

- (1) 製造上の不備に起因する故障以外の外的要因（お取り扱い不相当）故障。
- (2) 領収書など、お買い上げ年月日を証明できるものの提示のない場合。

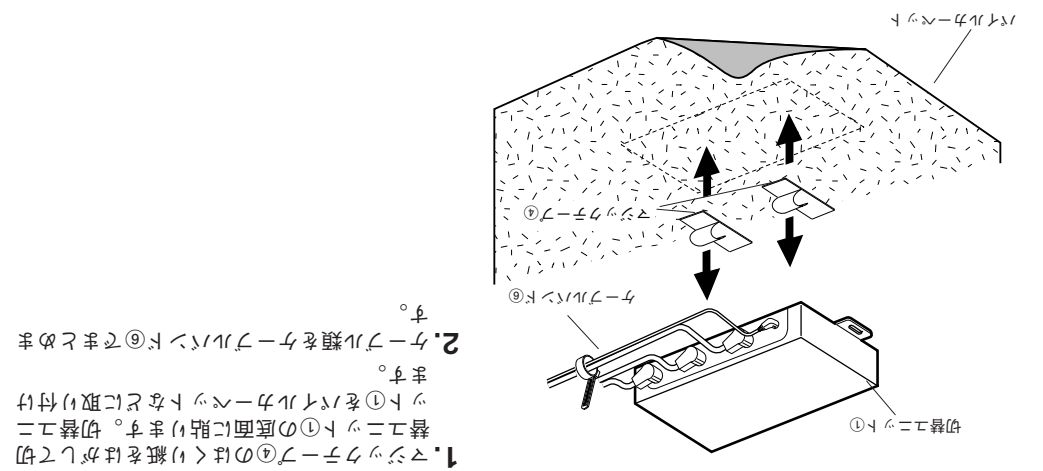
KENWOOD

株式会社 ケンウッド
〒150-8501 東京都渋谷区道玄坂1-14-6

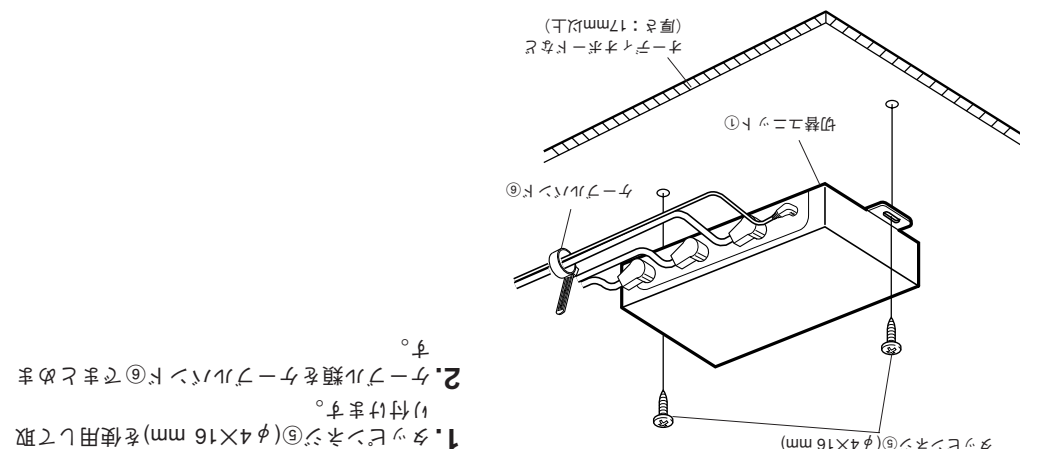
商品、商品の取り扱いに関するお問い合わせは、お客様相談室をご利用ください。
お客様相談室（東京）電話(03)3477-5335 〒153-0042 東京都目黒区青葉台3-17-9
（大阪）電話(06)6357-5335 〒534-0024 大阪府都島区東野田町1-20-5（大阪京橋第一生命ビル）
（土、日、祝祭日および当社休日は休ませていただきます）

注意

- 切替ユニットは運転の妨げにならない場所に確実に固定してください。
- 切替ユニットをシート下に取り付ける場合は、後部座席に座る人に当たらない場所へ取り付けてください。
- また、ケーブル類はスライドルール等に挟まれないように配線してください。
- 切替ユニットを直射日光のあたる場所、熱風のある場所、水のかかる場所への取り付けないでください。
- 切替ユニットの上に物を置かないでください。

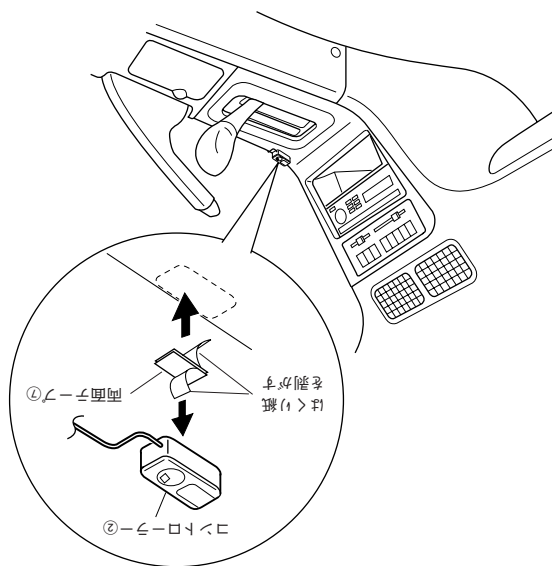


■ シート下のパルカーシートなどに取り付けの場合



■ トランクスペースにオートホールドを使用し取り付けの場合

切替ユニットの取り付けかた

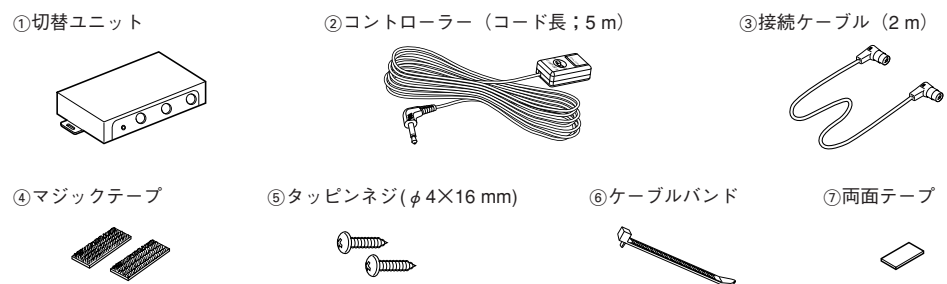


コントローラーの取り付けかた

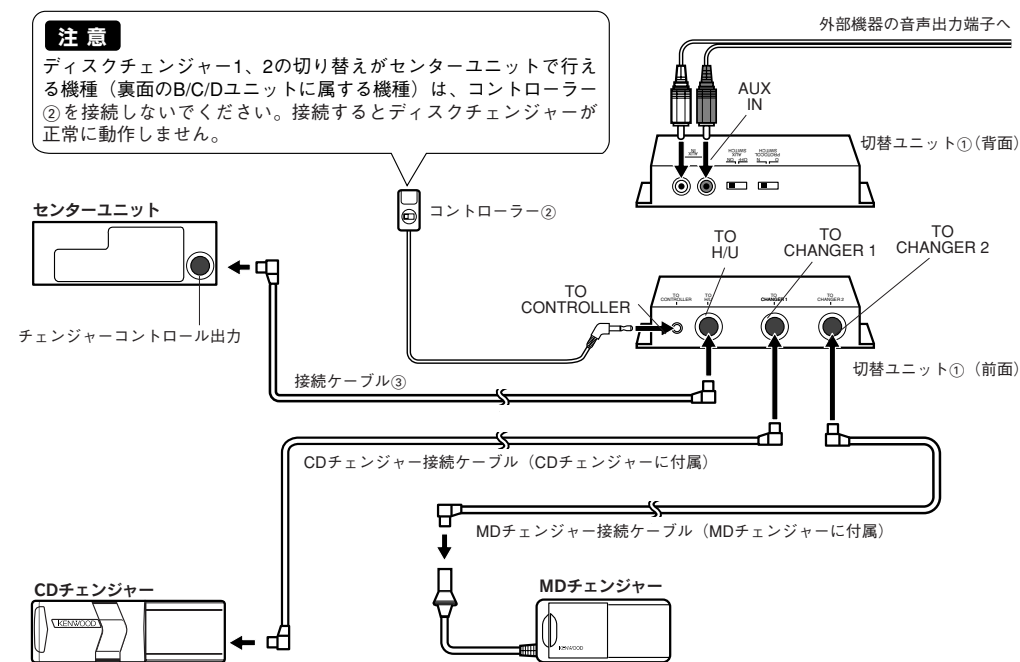
注意

- コントローラーは平面に取り付けてください。湾曲しているようなところに取り付けるとその接着力が弱くなり、はがれてしまうことがあります。
- コントローラーを直射日光の当たる場所（ダッシュボードの上など）など温度が高くなるような場所に取り付けしないでください。コントローラーが変形して使用できなくなる可能性があります。
- コントローラーは運転操作に支障がないところに取り付けてください。

構成部品



接続方法



注意
ディスクチェンジャー1、2の切り替えがセンターユニットで行える機種（裏面のB/C/Dユニットに属する機種）は、コントローラー②を接続しないでください。接続するとディスクチェンジャーが正常に動作しません。

注意
接続後は、センターユニットのリセットボタンを押してください。

- メモ**
- 図はCDチェンジャーとMDチェンジャーをそれぞれ1台接続する場合の例です。CDチェンジャーを2台、またはMDチェンジャーを2台接続することもできます。
 - ディスクチェンジャーの代わりにRD-360やRD-350などのディスプレイも接続できます。
 - 切替ユニット①をトランクルームに取り付ける場合などは、接続ケーブル③をCDチェンジャー接続ケーブルと入れ替えて使用することもできます。

AUX音声への切り替えかた

接続するセンターユニットにより、切り替え操作が異なります。下記のユニットグループを参照して、接続しているセンターユニットを確認のうえ、操作してください。

- A ユニット:** RX-360, RX-350, RX-340, RX-330, RX-D540など、センターユニットのソース選択でディスクチェンジャー1/2を切り替えられないタイプ。
- B ユニット:** CR-F900, CR-F700, CR-F500, DR-F900, DPX-700, DPX-500, DPX-410, DPX510, DPX-710MD, DPX910MD, DPX-660MD, DPX-550, DPX-440など、1998年以前に発売された製品で、センターユニットのソース選択でディスクチェンジャー1/2を切り替えられるタイプ。
- C ユニット:** RX-450, RR-500E, RX-750MD, RX-650MD, DPX-990MD, DPX-770MD, RX-560CD
- D ユニット:** 1999年以降に発売された製品で、ソース選択で“AUX”が表示されるタイプ（取扱説明書をご覧ください。）

■A ユニットに接続している場合

①	センターユニットの電源をオフに、または他のソースを選択してから、切替ユニットのAUXスイッチを『ON』に切り替えます。	
②	コントローラースイッチを『1』に切り替えます。 メモ AUX端子のみ接続している場合は、操作の必要はありません。	
③	センターユニットで<ディスクチェンジャー>を選択します。AUX端子に入力された音声が出力されます。センターユニットの表示は以下の状態のままになります。ディスクNo.→1、トラックNo.→1、演奏時間表→0分0秒	

注意

- ディスクチェンジャーを1台のみ接続する場合は、切替ユニットのTO CHANGER 2端子に接続してください。
- 切替ユニットのAUX端子のみ使用する場合は、コントローラーを接続する必要はありません。
- センターユニットで<ディスクチェンジャー>を選択した後に、切替ユニットや、コントローラースイッチを操作しても、AUX音声には切り替わりません。

メモ
切替ユニットのTO CHANGER 1または2端子に接続したユニットの音声を聴く場合は、下記の手順で操作します。

- 1.センターユニットの電源をオフにするか、一度他のソースに切り替えます。
- 2.AUXスイッチを『OFF』に切り替えます。
- 3.コントローラースイッチを『1』または『2』に切り替えます。
- 4.センターユニットで、<ディスクチェンジャー>を選択します。

PROTOCOL(プロトコル)スイッチの切り替え

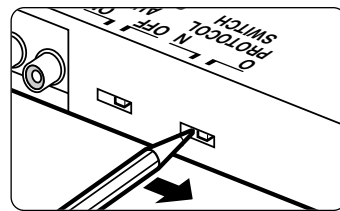
接続するセンターユニットにより、PROTOCOLスイッチの切り替えが必要です。

注意
PROTOCOLスイッチの切り替えは、センターユニットの電源をオフにしてから行ってください。

■A / Bユニットに接続する場合

PROTOCOLスイッチを“O”側へ切り替えてください。

注意
PROTOCOLスイッチが“N”側に切り替わっている場合は、切替ユニットの操作ができません。（接続しているディスクチェンジャーやディスクプレーヤーにO-Nスイッチがある場合は“O”側に切り替えてください。）

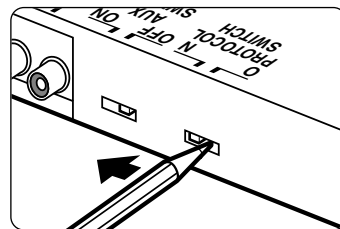


■C / Dユニットに接続する場合

PROTOCOLスイッチを“N”側へ切り替えてください。

注意

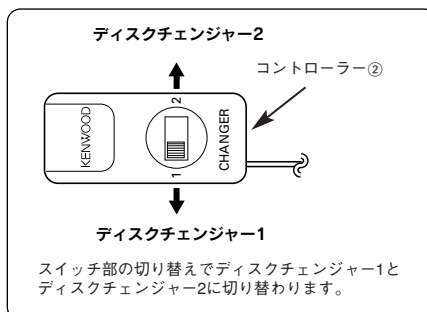
- PROTOCOLスイッチが“O”側に切り替わっている場合は、CDテキスト対応のディスクチェンジャーを接続していても、CDテキストやディスクネーム(DNPS)をセンターユニットで表示できません。（接続しているディスクチェンジャーやディスクプレーヤーにO-Nスイッチがある場合は同様に“N”側に切り替えてください。）
- O-Nスイッチが無いディスクチェンジャーを接続している場合は、ディスクネームセット(DNPS)機能は使用できません。



ディスクチェンジャーの切り替えかた

■Aユニットに接続する場合

あらかじめコントローラー②でコントロールしたいディスクチェンジャーを選んでおきます。ソースボタンで<ディスクチェンジャー>モードを選ぶと演奏が始まります。



注意

- ディスクチェンジャー演奏中にディスクチェンジャーNo.を切り替えることはできません。ディスクチェンジャーNo.を替えたいときは、センターユニットのソース切り替えボタンで他のソースに切り替えてから、コントローラーのスイッチを切り替えます。再度<ディスクチェンジャー>を選択すると切り替えたほうのディスクチェンジャーが演奏されます。
- ディスクチェンジャーNo.を切り替えて演奏を開始すると、センターユニットのディスプレイ部に、切り替える前のディスクチェンジャーNo.の情報が一時的に表示されることがあります。

■B / C / Dユニットに接続する場合

ソースモード切り替えボタンを押して、<ディスクチェンジャー1>、<ディスクチェンジャー2>を選択します。聴きたいディスクチェンジャーNo.を選ぶと演奏が始まります。（切り替えかたはセンターユニットの取扱説明書をご覧ください。）



■B ユニットに接続している場合

①	センターユニットの電源をオフに、または他のソースを選択してから、切替ユニットのAUXスイッチを『ON』に切り替えます。	
②	センターユニットで<ディスクチェンジャー1>を選択します。AUX端子に入力された音声が出力されます。センターユニットの表示は以下の状態のままになります。ディスクNo.→1、トラックNo.→1、演奏時間表→0分0秒	

メモ
切替ユニットのTO CHANGER 1端子に接続したユニットの音声を聴く場合は、センターユニットの電源をオフにするか、一度他のソースに切り替えてから、AUXスイッチを『OFF』に切り替え、<ディスクチェンジャー1>を選択します。

■Cユニットに接続している場合

①	センターユニットの電源をオフにして、切替ユニットのAUXスイッチを『ON』に切り替えます。	
②	センターユニットで<ディスクチェンジャー2>を選択します。AUX端子に入力された音声が出力されます。	

メモ
切替ユニットのTO CHANGER 2端子に接続したユニットの音声を聴く場合は、電源をオフにして、AUXスイッチを『OFF』に切り替えてから、<ディスクチェンジャー2>を選択します。

■Dユニットに接続している場合

①	センターユニットの電源をオフにして、切り替えユニットのAUXスイッチを『ON』に切り替えてください。	
②	センターユニットで<AUX>を選択します。AUX端子に入力された音声が出力されます。	

注意
AUXスイッチは『ON』に切り替えた状態で使用してください。切替ユニットのAUXスイッチを『OFF』に切り替えている場合は、<AUX>は選択できません。